

聞いてきました まちの 声

表紙によせて VOL. 7

隈本コマ 代表 隈本 知伸 氏



百年以上にわたり代々独樂こまを作られている八女市吉田の隈本コマ（独樂工房 隈本木工所）隈本代表に、独樂の歴史や目標などについて伺いました。福岡県知事指定特産民芸品「八女和ごま」を作る唯一の工房で、独樂づくりの技術、材料へのこだわり、後継者育成など熱い思いとともに仕事に対する誇りと自信が伝わりました。

独樂の歴史について教えてください。

江戸時代から始まったとされています。当時は賭博の対象で、九州の喧嘩独樂は特に盛んだったようです。産地は平戸から始まったとされており、九州が発信元と伝えられています。

八女和ごまは、上面の中央が大きくくぼみ、ヘソがある形が特徴です。人生が円満に回るようにと願いを込めて贈り物にも適しています。

百年以上、独樂を作られているのですね。

正確には分かりませんが、明治35年に設立し、私で6代目となります。私を含めて5人で事業を営んでいますが、最も若い従業員は27歳で、大学院を卒業して従事しています。

以前は花火工場と木工所の二つの部門を手掛けていましたが、現在は、伝統工芸の「八女和ごま」をはじめ木のおもちゃを制作から販売まで行っています。

制作や販売において、近年の新たな手法などがあればお聞かせください。

制作は、3D工作機を導入したことで難しい作業も容易になり、様々なニーズに応えることができるようになりました。

販売面では、ネットショップに出店し、今や売上の70%がネット販売で占めています。

今後の目標についてお聞かせください。

5年後を目途に、事業を次世代に継ぎたいと思っています。従業員が若いこともあり、時代にあった商品や販売方法を取り入れて伝統工芸を継承したいと考えています。

市議会に対するメッセージをお願いします。

八女市における事業の優先順位を明確にして市政を進めていただきたいです。中でも道路整備は重要であり、3号線バイパスは早期に進めていただくようお願いいたします。

議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

11月30日(火)予定
立花庁舎議場 午前10時から
八女市議会事務局 23-4922

令和3年8月11日からの大雨により被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。
市議会は、被災地の一日も早い復旧に向け力を尽くしてまいります。

八女市議会

編集後記

「天災は忘れた頃にやってくる」はたびたび聞かれる言葉です。数十年に一度の災害が毎年起き、今年も地域に被害をもたらしました。▼矢部川の大雨防災の要は日向神ダムが守っています。地域を守り平和な暮らしを築くには「治水」は大切なことです。矢部川流域の環境をどうしていくか、もう一度一緒に考えてみましょう。 栗原 吉平

発行責任者 議長 角田 恵一
議会だより編集委員会
委員長 高橋 信広
副委員長 大坪久美子
委員 栗原 吉平
委員 松崎 辰義
委員 牛島 孝之
委員 堤島 康幸
委員 田中 栄一
委員 川口 正信
委員 高山 信